

ふるさと探究 ハンドブック

～担い手育成(実践編)～

令和8(2026)年3月
NPO法人安曇野ふるさとづくり応援団

ふるさと探究ハンドブック（実践編）の趣旨・内容

本書は、令和3年（2021）以降「ふるさと探究」の授業支援を実践してきたなかで、とくに地域探究学習へ主導的に関わる方々が実践していくうえで持ち合わせていたい考え方・手法やその例を昨年度の「基礎編」に続く「実践編」としてまとめたものです。

ふるさと探究の学びの基本となる展開を整理したうえで、これを実践していくために必要なスキルや学びのプロセスを具体化するうえでのポイントや事例をまとめています。

学習プログラム構築の基礎を踏まえたうえで、その実務に役立てていただければ幸いです。

ふるさと探究の目的・概要	1
実践編Ⅰ. ふるさと探究の場づくり	3
実践編Ⅱ. 場を展開させる人の役割とスキル	5
実践編Ⅲ. ふるさと探究のプロセスのデザイン	7
ふるさと探究「担い手育成」	14
1. ふるさと探究「担い手育成」の概要	15
2. ふるさと探究「担い手育成」プログラム	16
3. 担い手育成の実践	17
4. 担い手育成の課題	31
5. 情報発信	32

NPO法人 安曇野ふるさとづくり応援団 活動概要

■理念

『Iターン者と地域住民との交流による、地域の自然・歴史・文化・風土を大切にしたふるさとづくり』

■組織

2006.6
NPO法人信州ふるさとづくり応援団設立
2016.12
NPO法人安曇野ふるさとづくり応援団

■活動

- 地域再発見
 - 『ふるさとウォッチング』 2007～
 - 『安曇野さんぽ』 2014～
- 地域ガイド育成
 - 『案内人の教室』 2016～
- 協働まちづくり
 - 『安曇野まちなかカレッジ』 2013～
 - 『さとやま楽校』 2015～
 - 『安曇野ふるさと遺産』 2018～
- 探究学習支援
 - 『ふるさと探究』 2021～
 - 『ふるさと探究』担い手育成（2024～）

『ふるさとウォッチング』～地域再発見（2007～）



『旧保高宿まちづくり』～地域再発見（2012～）



『案内人の教室』～人材育成（2015～）



『安曇野ふるさと遺産』～協働のしくみ（2018～）



『ふるさと探究安曇野』～探究学習支援（2021～）
『ふるさと探究』担い手育成（2024～）

【参考：基礎編目次】

基礎編Ⅰ. ふるさと探究の目的・概要	1
基礎編Ⅱ. 担い手の心構え	3
基礎編Ⅲ. 対象の捉え方	5
◆「見える風景」「見えない風景」という考え方	5
◆見えない風景 ～時間でとらえる～	6
◆見えない風景 ～空間でとらえる～	7
－安曇野の成り立ちの基盤となる要素に着目－	7
－授業で用いた事例で解説－	9

ふるさと探究の目的・概要

「ふるさと探究安曇野」とは、失われつつある安曇野の歴史文化景観遺産の存在や成り立ち等をNPO法人安曇野ふるさとづくり応援団が様々な主体との協働で、子ども達に伝えていくしくみづくりを進める取り組みです。

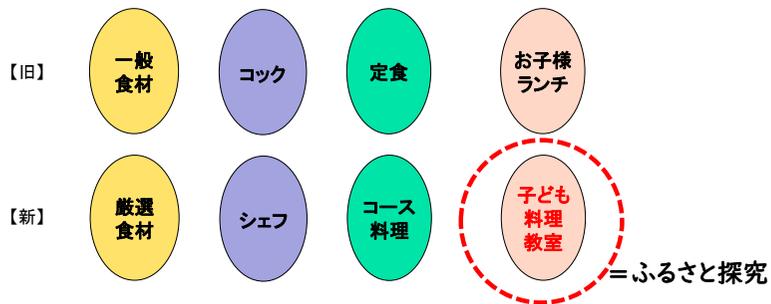
学習指導要領でも「探究型の学び」が重視されてきていることも踏まえ、次世代が市内のお宝の存在を現場で知り、学びそして伝えていく展開を生み出すことを目指しています。



取り組み過程の成果を広く発信・共有
 学びを支える教材や安曇野の歴史・文化資源にまつわる情報を整理した資料・学びの機会をつくるための工夫やノウハウ等

活動の展開 ~ 料理に例えると

お子様ランチの提供ではなく、**子ども料理教室**の開催



ふるさと探究の目的・概要

「ふるさと探究安曇野」は、地域への理解の程度や参加者の関心のレベルに合わせた初級・中級・上級のプログラムに大別されます。学校や主催団体の要望に応じたオーダーメイドによる学習プログラムです。

初級a 謎解きウォーク

内容
 地図をみながら歩いてポイントを探し、ポイント近くに見えるモノの背景に潜む様々な謎の答えを推理しシートに記入。案内役の大人のガイドのポイント解説で理解をさらに深める探究型のウォークラリー。

ねらい
 日頃見慣れてる何気ない風景にもその成り立ちには理由や様々な背景があることについて、「謎解き」という子どもの冒険心を掻き立てるしかけを活かして理解を深める。

初級b めかくど体験

内容
 安曇野の有機米農家がめかくどご飯の材料であるコメと水の解説を行ったうえで、紙芝居やクイズでめかくど釜への理解を深め、実際に本物の釜を使ってご飯炊き体験を行うプログラム。

ねらい
 安曇野の水と稲作を理解しながら、電気もガスも使わずに炊く米の味も味わい、自分の育つ環境、土地のもつ「豊かさ」、古くから地域に継承されてきた知恵や技術を五感で体験する。

中級 謎探しウォーク

内容
STEP1 個人で取り組むまちの中の「謎探し」とその解決
STEP2 グループで取り組むまちの「謎探し」とその解決

ねらい
 同じ「謎探し」とその解決であっても、個人の考えや目線で行う場合と、グループで話し合っ探す場合の間に様々な違いがあることを感じ、多様な視点や考え方への理解を深める。

上級 課題解決型探究

内容
STEP1 初級編の手法や考え方を取り入れ、まちを歩きその特徴や課題を謎解き方式で理解。
STEP2 STEP1での理解を活かし、再度まちを確認しながら、魅力向上や課題の解消につながる新たな取り組みを発案。

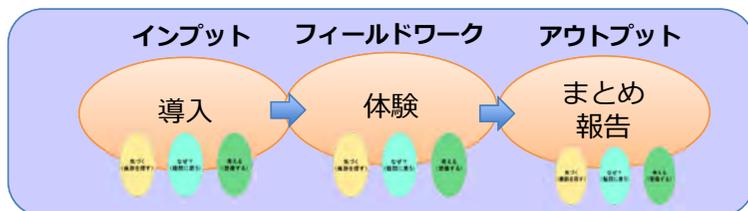
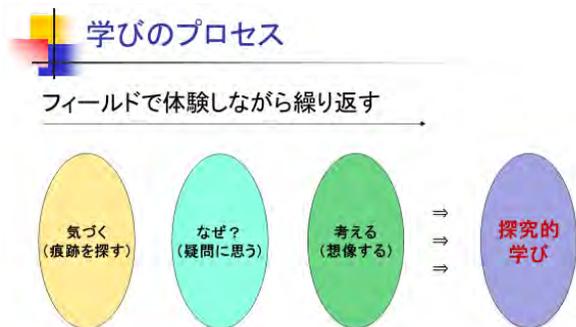
ねらい
 謎解きを通じて身近な暮らしの環境の成り立ちや特色・課題の捉え方を学び、自分がいま育っているまちへの関心・理解を深める。
 さらに、まちの特色を踏まえて設定されたテーマ、課題に沿って自分たちでその対応を考えて形にしていける企画・発案のプロセスを体験する。

◆ 座学→フィールドの体験→アウトプット作成・報告の展開

ふるさと探究では、子どもたちに気づかせる場と時間をつくりだし、そのなかで『なぜ』を考える問いかけをし、理解や新たな気づきを積み重ねていく流れを大切にしています。

積み重ねの結果は、学びのアウトプットとして作成し、これを多くの人の前で発表することで、気づきや学びを自分の中のより確かな糧としていきます。

この観点に立って、ふるさと探究の授業では、導入（インプット）→体験（フィールドワーク）→まとめ（アウトプット）の流れを基本のプロセスとして設定しています。



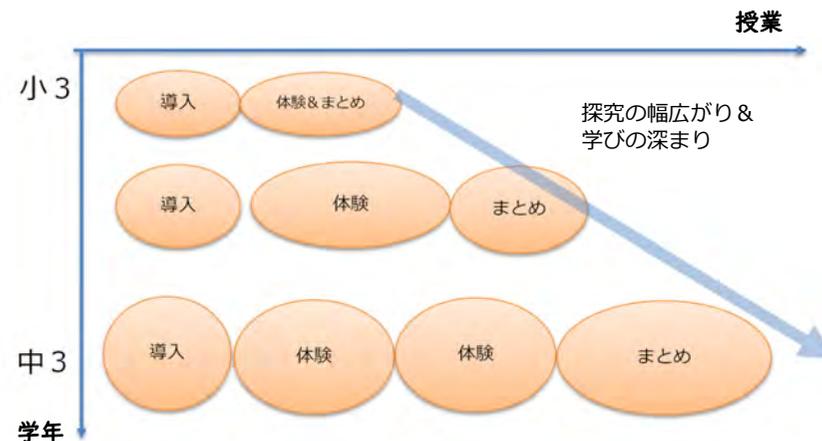
1 コマの授業の中に

気づいて、考えて、まとめて発表するプロセスを設ける

◆ 学びの熟度に合わせたステップアップ

探究的な学びを深めるために、導入→体験→まとめの一連のプロセスを1回の授業あるいは一連の授業の流れの中に組み込んでいく必要がありますが、この組み込み方次第で得られる成果も大きく変わります。

各学年の学びの熟度に合わせて、その組み込み方を工夫し、区切りとなるまとめをこまめに組み合わせながら、学年ごとの授業のコマ数に合わせ、ステップアップさせていく展開が必要です。



(フローの事例)

	導入	体験STEP1	体験STEP2	まとめ
初級	ガイダンス	地図記号学習 新旧地図比べ	謎解きウォーク	地図にまとめ
中級	ガイダンス 等高線	等高線と地形 のフィールド ワーク	扇状地と湧水 のフィールド ワーク	振り返り 発表資料作成 & 発表

◆ 対話と共感を導く

ふるさと探究を進めるには、次の2つのスキルを持つ担い手の存在が重要です。

- 子どもたちに気づきを促し、そのなかで『なぜ』を考える問いかけができる
- 導入→体験→まとめ等の学習の流れを組み立てたり、現場で子供たちに対してこの流れを導くことができる

このようなスキルをもつ担い手は、一般には「ファシリテーター」と呼ばれます。市民参加型のまちづくり活動のなかで生まれてきた呼称で、中立的な立場から議論の進行や活動の支援を行う人を指します。

授業の場面を例にとると、児童や生徒たちのグループごとの学びを、探究の狙いも理解したうえで中立的な立場で場のデザインを行います。

子どもたちが安心して話をしながら学びを深められる雰囲気を作り出すために、子どもたちの発想や感覚に共感しながらも、疑問や新たな気づきを促すことのできる対話をする力が重要になります。

役割	ティーチャー	コーチ	ファシリテーター
イメージ図			
関連ワード	指導者 説明 強制/矯正	伴走者 鼓舞 協働	支援者 対話 共感
重要なスキル	ストーリーテリング	目標設定	場のデザイン

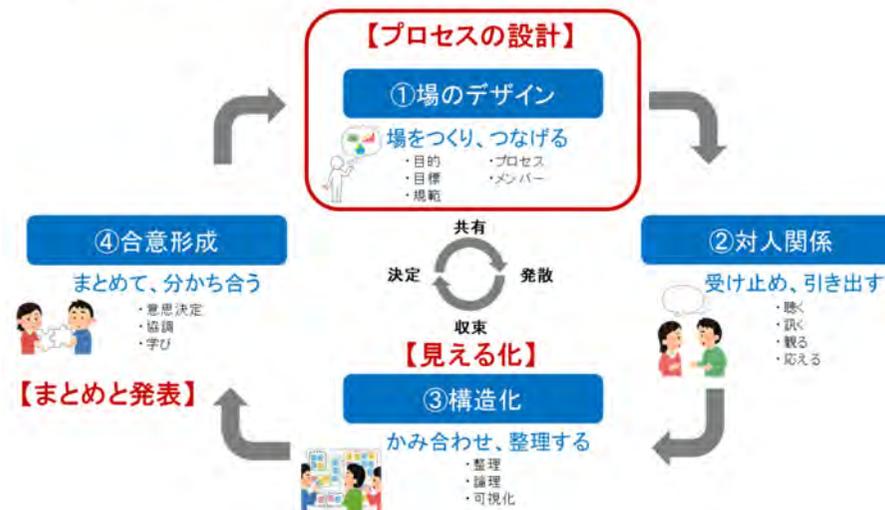
(探究堂<http://tanqdo.jp/> 2017年2/21ブログ内の図に加筆して作成)

◆ 学びのプロセスの可視化・共有の重要性

子どもたちの学びの場を生み出す側の誰もがファシリテーターのようなスキルをもつことができるとベストですが、なかなか現実には難しい話です。

より先導的にこの役割を担う人が最初にいる、そこに関心を持つ人が集まり、スキルや手法を共有していくことで発展させていく必要があります。

ファシリテーターの4大スキル



(<https://note.com> サイト内
ファシリテーションははじめの一步に一部加筆)

この流れを作り出していくために重要なのが、ファシリテートを先導する人とこれを支える人との間での『学びのプロセスの可視化と共有』です。この作業のなかではとくに次の点を明確にしておくことが重要です。

- 探究のねらいとゴール
- 個人の学びかグループでの学びか
- フィールド学習の位置付け(フィールドに出ることで生み出す学びの効果)
- 複数回の学びの流れと作成するアウトプットのイメージ

◆ ステップアップできるプロセスの構築

ふるさと探究での学びをより実りあるものとするには、ファシリテートの感性をもちながら、いかに探究の場をデザインするかが重要です。

探究学習の担い手となる人たちが参加する子どもたちと対話しながら授業に関わり、関係者同士でそのプロセスを柔軟に検討しながら、共有します。
共有できたプロセスに沿って子どもたちと再び対話と共感を繰り返しながら、学びを段階的に深めていく「ステップアップ」の流れをつくり出し、ゴールを目指します。

その場づくりは5W1Hを念頭に、下図のように登山に例えることができるでしょう。

場のデザイン ～ 登山に例えると

【ゴールよりプロセス】

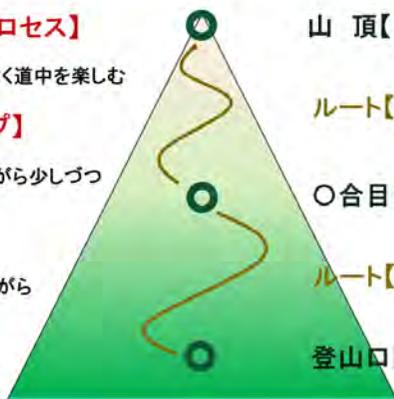
登頂が目的ではなく道中を楽しむ

【ステップアップ】

途中で振り返りながら少しづつ

【臨機応変】

参加者と対話しながら
ルートは柔軟に



山頂【目的: Why】

まとめ

ルート【手段: How】

○合目【目標: What】

体験

ルート【手段: How】

登山口【現状: Start】

導入

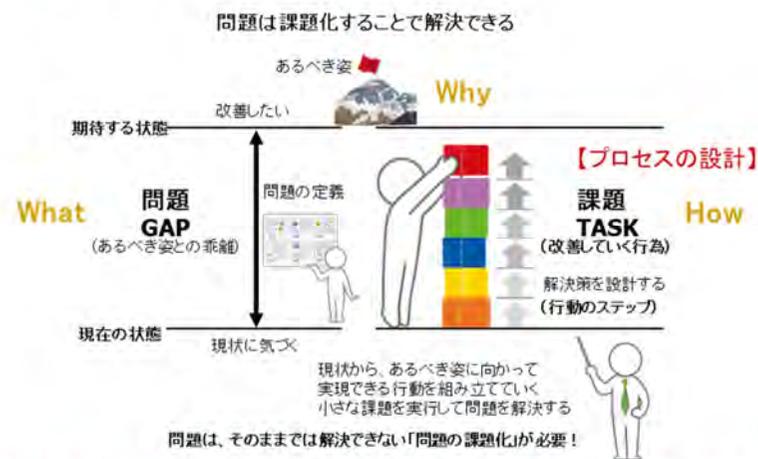
◆ プロセスのデザイン

探究学習では上級の学年に進むと、個別の様々な学びの成果を積み上げて、自身の暮らす地域が抱える課題の解決の糸口となる活動を試みたり、提案をまとめる等したアウトプットを発信することが代表的なゴールのひとつとして認識されています。

このときに、「発信する手段」が目的化してしまい、本来積みあげて組み立てていくべき探究のプロセスが形骸化してしまうケースが見られます。

探究の出発点になる「なぜ〇〇なのか」を常に基軸に据え、その「なぜ」を「どのように解決」しようとしているのかを可視化して、学びを導く側も、子どもたちともこれを共有することが大切です。

学びのプロセス ～ 問題と課題



『課題化には理由(なぜ)とプロセス(どのように)が重要』

(<https://www.teoria.jp/?p=2831>サイト内 失敗・気づきを強みへに一部加筆)



区分	概要
テーマ	謎解きウォーク
対象	小学校中学年
コマ数	2時間×1回 (I, II) 4時間×1回 (III, IV)
学習単位	5～6人/班
対象範囲	小学校周辺

I

地図記号

地図の記号を知る



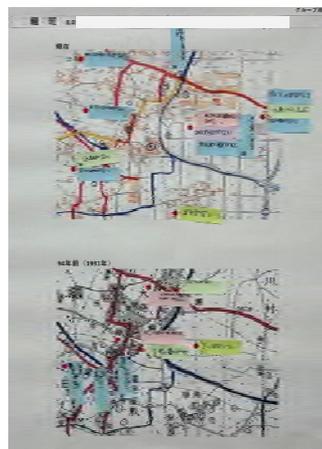
地図の記号を知る



II

新旧の地図の比較

今と昔の地図をくらべる



III

謎解きウォーク

謎解きポイントでは謎の理由や背景を推理。そのうえで、案内スタッフの補足解説をきいて記録。

ウォークラリーのミッション

【ミッション】7つのポイントを探して謎を解け！！

- A 【A1地形の謎】 水路が直角に曲がってる？
- 【A2地形の謎】 道の左右で田んぼがらがる？
- 【B1くらしの謎】 石にしましがある？
- 【B2くらしの謎】 屋根が2重になっている？
- 【B3くらしの謎】 屋根の上にやじるべい？
- C 【C1神さまの謎】 こま犬は左右がらがる？
- 【C2神さまの謎】 石仏に3匹のサルがいる？

【エリアマップ】

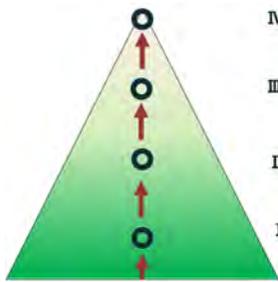


IV

気付と疑問のまとめ

あらかじめ準備した写真を使って、地図上に貼りながら歩いたコースを記入して振り返り。そのうえで印象に残ったことを1人1つ以上上げてもらい、付箋紙に書き込んで地図内に貼り付け、グループ単位で報告。





- IV 地域探究のまとめ
(個々で報告)
- III 市内の地形観察
【FW・バス】
- II 学校周辺の凹凸観察
【FW・徒歩】
- I 等高線を学ぶ
【講義・ミニWS】

区分	概要
テーマ	地域の凸凹探検
対象	小学校中学年
コマ数	2時間×1回 (I) 4時間×2回 (II・III) 通常授業◆回 (IV)
学習単位	5～6人/班 最終まとめは個人
対象範囲	小学校周辺及び市内 (バス移動)

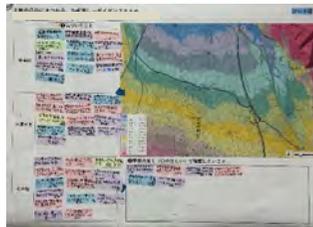
I

等高線を学ぶ

等高線をトレースし、線の意味を理解する。



3mごとに色分けした等高線図をもとに学校周辺の凹凸について疑問に思うことを書き出し、グループ単位でまとめ



班ごとに気づいたこと、次回のフィールドワークで確認したいことなどを報告



II

学校周辺の凹凸観察

土地の凹凸と等高線の関係を観察できるエリア2か所を設定。



スタッフが下見を経て、各エリアでの観察や学習内容を検討。



各地点でスタッフの案内のもと、様々な視点から観察を実施。

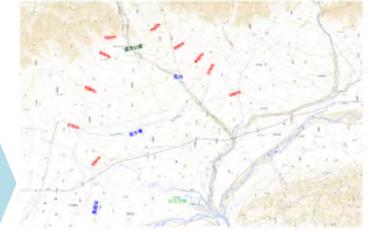


室内に戻り解けた謎、さらなる謎等をグループ単位で整理して、報告し共有。

III

市内の地形観察

バスであづみの公園へ移動。



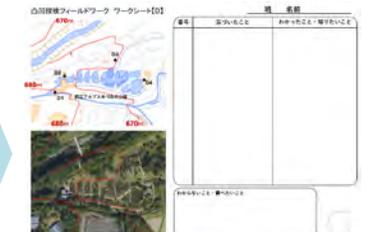
あづみの学校玄関ホールで扇状の等高線をトレースし、形の意味を学習。



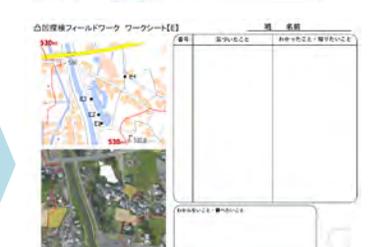
扇型の等高線の意味や成り立ちの背景を安曇野の模型で学習。



公園の屋外では地形や水をテーマにした観察ポイントを準備し、それぞれの箇所でききや疑問を記入。



公園での学習を終えたあと、豊科の湧水公園へ移動し、地下水の湧き出す仕組みや、水温、柳の多い環境などを学習。



IV

地域探究のまとめ

スライドにまとめた学びの成果をグループ内で授業参観時に個人発表



■ 地域の宝

安曇野市では、令和2～5（2020～2023）年度に、市民のみなさんに地域の歴史文化遺産（地域の宝物）への関心を高めていただく契機となるよう、市内の5地域の歴史文化遺産の魅力をわかりやすい形で発信し、地域ごとに「宝」としてまとめた冊子が発行されています。



*冊子の一般配布分はすべて終了。いずれも当市内の図書館で閲覧もしくは市のホームページからもPDF版を御覧いただくことが可能。
<https://www.city.azumino.nagano.jp/soshiki/43/64721.html>



(安曇野市文化財保存活用地域計画より引用)

■ 安曇野風土記

『安曇野風土記』は、市民が地元の魅力を再発見してもらうため、また市外にも当市の魅力を発信するため、水、桜、美術の4つの切り口から安曇野を見つめ直した書籍です。



豊科郷土博物館等で購入が可能。安曇野市文化課へのメールでも郵送申し込みが可能。詳細は下記のページで確認ください。

<https://www.city.azumino.nagano.jp/site/kyoiku/75656.html>



(安曇野市文化財保存活用地域計画より引用)

■ ふるさと安曇野 きのう・きょう・あした

豊科郷土博物館は、安曇野市の基幹博物館として郷土安曇野の自然・歴史・民俗を対象に庶民の生活に関わる資料の収集・収蔵・管理と調査研究及びその成果の発信に努めています。

定期的に行われる企画展の成果のうち、平成20年（2008）の夏以降については、簡易な冊子「ふるさと安曇野 きのう・きょう・あした」としてまとめられており、ホームページからPDFをダウンロードすることが可能です。右表はこれまで発行された当冊子のリストです。

No.	タイトル
1	昔の安曇野・女性の暮らし～昔の女性は大変だった？～
2	土の中から現れた安曇野
3	女性がささえた養蚕
4	安曇野の屋根を彩ったいぶし銀の造形 瓦の美と技と心
5	安曇野わさび・いまむかし
6	安曇野・昭和の子どもたち～戦争から平和へ～
7	水田とあぜ道をめぐる私たちの暮らし～写真に残された循環の記録～
8	安曇野のオフネ祭りの来し方行く末
9	安曇野の「あの世」今昔
10	道祖神祭りに託された願い
11	田園産業都市安曇野の発展を支えた発明と現代のモノづくり
12	いくさだ！そのとき民衆は・・・
13	受け継がれる安曇野の食文化
14	人の一生Ⅰ 安曇野で生まれ 大人になる
15	人の一生Ⅱ 私が嫁いだ日
16	野鳥×植物 つながる生命のいとなみ
17	死を見つめ 生を考える
18	安曇野の屋敷林
19	明科廃寺が造られた時代～その時の明科、安曇野、そして信濃は～
20	絹の道～養われる蚕・自養する蚕～
21	旅と土産
22	満願寺展Ⅰ ～描かれた満願寺とその自然～「死出ノ山」とは何か～
23	安曇野の外来動植物さんぽ～身近な自然から学ぶ～
24	満願寺展Ⅱ 殿様と庶民の満願寺
25	八面大王と田村麻呂～その原点へ、魔道王登場
26	安曇野の戦争→→→ 郷土から戦場へ →→→
27	わたしの野良着
28	古代中世の墓を覗く
29	絵図から何がわかるか！・・・安曇野の江戸時代をみる
30	令和6年度春季企画展 食卓の風景 食と家族の80年
31	日中戦争、太平洋戦争下の安曇野の人々 二人の特攻兵と、一人の女子挺身隊員を追って



<https://www.city.azumino.nagano.jp/site/museum/120742.html>

ふるさと探究「担い手育成」

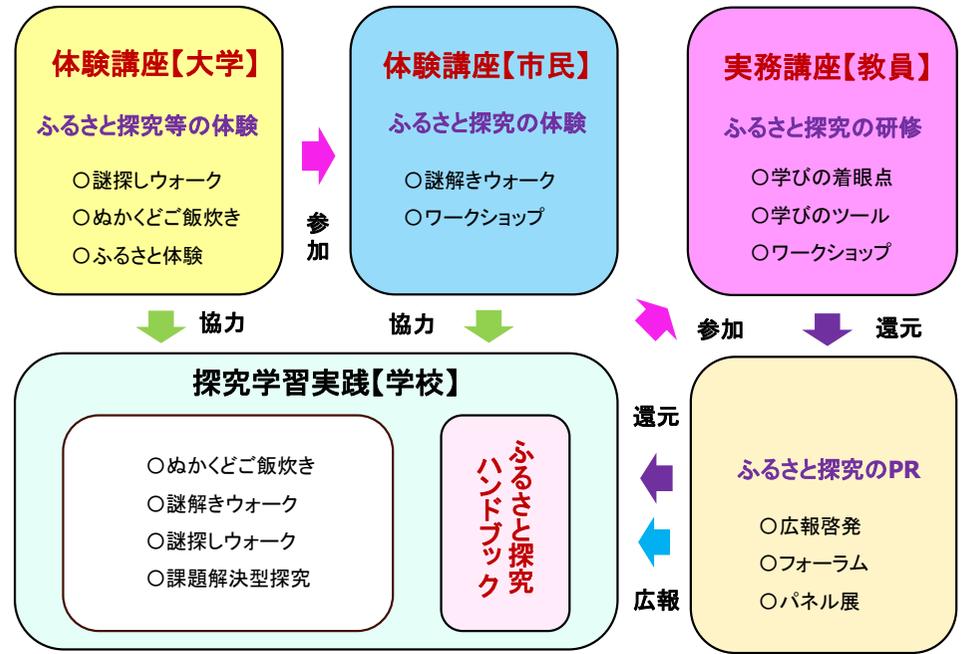
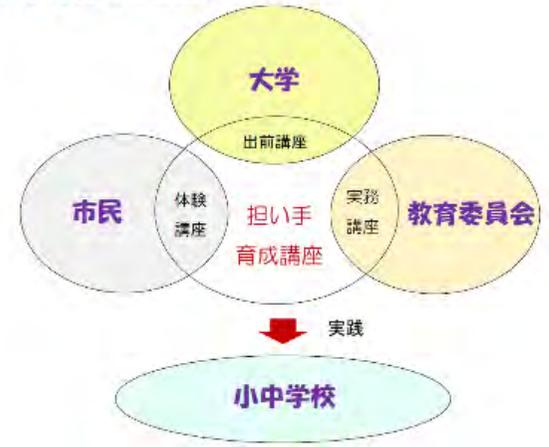
1. ふるさと探究「担い手育成」の概要

「ふるさと探究」での蓄積を活かして、探究学習支援をより持続可能なものとしていくことを目指し、その運営手法等にも工夫を加えながら、担い手になる人材育成に取り組んでいます。

教育委員会、大学、国営アルプスあづみの公園等の官民学の連携による担い手育成のしくみの構築を進めています。

2026年度まで3か年かけて取り組み、その成果を「ふるさと探究ハンドブック」としてとりまとめる予定です。

担い手育成（概念図）



2. 担い手育成のプログラム

体験講座【大学】

安曇野市内で展開している探究学習「ふるさと探究」のプログラム運営への参加・協力を始め、安曇野の地域探究の重要な素材となる「地域の宝物」の維持管理や学習の機会に参加できる「体験講座」を信州大学と調整を図りながら実施しました。

実施実績

(学校)	
武蔵野六中1年	謎解きウォーク 2024.9.7
堀金小3年	謎解きウォーク 2024.9.24~25
堀金小3年	謎解きウォーク 2025.9.24~25
堀金小3年	ぬかくどご飯炊き 2025.2.21
豊科北小3年	ぬかくどご飯炊き 2025.3.3~4
(地域)	
里山謎解きウォーク	2024.11.9
ふるさとウォッチング	2025.4.26
ふるさとさんぽ	2025.5.31、6.14、7.12
屋敷林落葉拾い	2025.11.23



体験講座【市民】

安曇野市教育委員会と連携し、謎解きウォークを取り入れながら、地域の文化資源の多い地区での市民ワークショップのほか、小学校高学年を対象にしたジュニアリーダー養成講座を開催しました。

実施実績

(学校)	
ジュニアリーダー養成講座	2025.9.23
豊科北小 謎探しウォーク	2025.11.11・25, 12.2
(地域)	
田園集落・中堀地区	2024.10.12
水辺集落 等々力地区	2024.10.26
里山集落・潮沢地区	2024.11.9
まちなか 保高宿地区	2024.11.27



実務講座【教員】

安曇野市教育委員会と連携し、市内の小中学校の探究学習推進の一翼を担う「安曇野の時間推進委員会」の教員を対象に、謎解きウォークのシート作成や、地域資源を活かした探究学習の進め方についてのワークショップ等を定期的の実施しました。

実施実績

R6ワークショップ(探究学習の現状と課題)	2024.6.18
R6フィールドワーク(ワークシート作成体験)	2024.8.1
R6ワークショップ(今後の探究学習に向けて)	2024.11.11
R6成果の共有(市内小中17校合同研修での報告)	2025.1.28
R7ワークショップ(探究学習の現状と課題)	2025.6.19
R7フィールドワーク(謎解きウォーク体験)	2025.7.30
穂高西小教員研修	2025.4.30 6.4



3. 担い手育成の実践

2024～2025年度の担い手育成のための各講座の実践状況を下表にまとめました。
2024年度は延102名（学生28名、市民50名、教員24名）、2025年度は延129名（学生16名、市民31名、教員82名）の参加がありました。

2024年度

講座	プログラム	時期	内容	参加人数	育成人数
体験講座・学生	武蔵野六中謎解き	R6.9.7	中1の学習旅行での探究学習（謎解きウォーク）の運営サポート	66	6
	堀金小謎解き	R6.9/24 9/25	小3向け探究学習（謎解きウォーク）の運営サポート	66	4
	堀金小ぬかくど	R7.2.21	小3向け探究学習（ぬかくど体験）の運営サポート	66	2
	豊科北小ぬかくど	R7.3.3,4	小3向け探究学習（ぬかくど体験）の運営サポート	64	3
	活動紹介（講座・座学）	R6.9.7	安曇野ふるさと探究の取り組み紹介の室内講座	6	6
	謎解きウォーク&ワークショップ（里山）	R6.11.9	市民向け育成講座参加・運営サポート	18	2
	屋敷林落葉拾い	R6.11.23	屋敷林保全活動（落葉拾いボランティア）への協力	17	5
	田園エリア体験講座	R6.10.12	謎解きウォーク&ワークショップ	10	10
体験講座・市民	湧水エリア体験講座	R6.10.26	謎解きウォーク&ワークショップ	12	12
	里山エリア体験講座	R6.11.9	謎解きウォーク&ワークショップ	18	18
	まちなかエリア体験講座	R6.11.27	謎解きウォーク体験&情報交換	10	10
	第1回実務講座	R6.6.18	第1回ワークショップ	8	8
実務講座・教員	第2回実務講座	R6.8.1	ワークシート作成体験	8	8
	第3回実務講座	R6.11.11	第2回ワークショップ	10	8

2025年度 担い手育成の実践の記録

講座	プログラム	時期	内容	参加人数	育成人数
体験講座・学生	ふるさと体験	R7.4.26	ふるさとウォッチング	24	1
	ふるさと体験	R7.5.31	ふるさとさんぽ〜等々力	14	2
	ふるさと体験	R7.6.14	三角島〜自然体験	15	2
	ふるさと体験	R7.7.12	ふるさとさんぽ〜やまこ	7	2
	堀金小3年謎解きウォーク	R7.9.24 9.25	謎解きウォークの運営サポート	37 36	1 2
	ふるさと体験	R7.10.25	ココブラ〜明科三川合流	8	1
	ふるさと体験	R7.11.16	ココブラ〜穂高有明砂	4	1
	ふるさと体験	R7.11.23	落葉拾いボランティアへの協力	25	1
	豊科北小3年ぬかくど体験	R8.2.9 2.10	ぬかくど体験の運営サポート	86	2
	堀金小3年ぬかくど体験	R8.2.20	ぬかくど体験の運営サポート	72	1
	体験講座・市民	ジュニアリーダー養成講座	R7.9.23	国営公園謎解きウォーク	14
豊科北小4年探究学習支援1		R7.11.11	学校ボランティアによる授業支援（室内）	32	6
豊科北小4年探究学習支援2		R7.11.25	学校ボランティアによる授業支援（フィールドワーク）	32	5
豊科北小4年探究学習支援3		R7.12.2	学校ボランティアによる授業支援（あづみの公園他）	32	6
実務講座・教員	穂高西小教員研修1	R7.4.30	座学・謎解きウォーク体験	22	22
	穂高西小教員研修2	R7.6.4	学区内謎解きウォーク体験	25	25
	安曇野の時間推進委員会1	R7.6.19	座学・ミニワークショップ	7	7
	安曇野の時間推進委員会2	R7.7.30	フィールドワーク体験&ワークショップ	24	21
	安曇野の時間推進委員会3	R8.3.6	年度内の取り組みの総括・意見交換	9	7

謎解きウォーク

体験(学生)

2025/9/24, 25
堀金小3年

堀金小3年生の総合学習の一環で実施する謎解きウォークの運営に、大学生の協力者を募り、グループごとの学習(屋外と屋内)をサポートを通じ、探究学習の指南を体験する機会を設けた。

探究学習内容

開催概要

対象 3年1組(大場) 37名 6組 2名欠席
3年2組(織田) 36名 6組

担当 9月10日 ガイダンス
望月 矢花 宮崎 藤村 小川
9月24日 1組 謎解きウォーク
1班(2)望月 横田 2班(6)矢花 宗像 3班(6)宮崎 佐藤
4班(6)西澤 小川 5班(6)青柳 渡辺 6班(6)手塚 藤村
9月25日 2組 謎解きウォーク
1班(6)望月 佐藤 2班(6)矢花 宗像 3班(6)宮崎 富田
4班(6)西澤 小川 5班(6)青柳 渡辺 6班(6)手塚 藤村

【エリアマップ】



地形の謎を解け!



Q1 左側の山はどのような山か?

Q2 右側の山はどのような山か?

Q3 この山はどのような山か?

おまけQ1 山頂の石はどのような石か?

くらしの謎を解け!



Q1 左側の道具はどのような道具か?

Q2 右側の道具はどのような道具か?

おまけQ1 この道具はどのような道具か?

堀金小学校3年 なごときウォークラリー



育成活動

授業開始前の事前打合せ



班ごとの謎解きウォークのサポート



まとめ作業の指南



概要

フィールドで探し、考え、記録し、解説をきく

発見したこと・気づきをまとめる

体験(学生)

2025/2/21 堀金小3年
2025/3/3, 4 豊科北小3年

ぬかくど体験

堀金小3年生、豊科北小3年生の総合学習の一環で実施するぬかくど体験の運営に、大学生の協力者を募り、紙芝居やクイズによる学習の運営体験の機会を設けた。

探究学習内容

ぬかくど釜の構造の説明と着火



豊科北小

紙芝居によるぬかくど釜の説明



豊科北小

無農薬米や田んぼの生き物のお話



堀金小

おむすびつくりと試食



堀金小

育成活動

着火後～炊きあがりまでの間に実施する学習コーナーの運営を学生が体験。



ぬかくどを解説、紹介する紙芝居の運営を实践



豊科北小



堀金小

ふるさと体験

～関連団体主催講座への参加～

2025/4/26 ふるさとウォッチング安曇野 運営サポート・参加

ふるさとづくり応援団主催で継続して実施している地域のまちあるき「ふるさとウォッチング安曇野」への参加と運営の一部サポート。

【概要】

- 開催場所 穂高 等々力町地区
 時間 8:30～13:00
 内容
 ○ ガイドウォークへの参加
 ○ ぬかどおむすびを食べながらの意見交換への参加 等



ふるさと体験

～関連団体主催講座への参加～

2025/7/12 ふるさとさんぽ～やまこ への参加

安曇野案内倶楽部主催の「ふるさとさんぽ ～やまこ」に参加し、国営アルプスあづみの公園内の天蚕飼育林や公園周辺の岩原集落の散策を通じ、天蚕や西山山麓一帯の集落の文化や暮らしへの理解を深めた。

【概要】

- 開催場所 国営アルプスあづみの公園 岩原地区
 時間 9:30～12:00
 内容
 ○ 公園内の天蚕飼育林でのやまこの観察
 ○ 公園内・岩原地区でのガイドウォークへの参加



2025/5/31 ふるさとさんぽ 等々力地区への参加

過去の「ふるさとウォッチング」のリメイク版として安曇野案内倶楽部で主催する「ふるさとさんぽ」に参加し、穂高等々力地区の歴史や文化、暮らし、産業への理解を深めた。

【概要】

- 開催場所 穂高等々力地区
 時間 9:00～12:00
 内容
 ○ みどころに立ち寄りながらガイドウォークの参加



2025/10/25 ココブラ信州 明科三川合流 参加

ココブラ信州主催の「三川合流」をテーマにした散策ツアーに参加。「扇状地」「河岸段丘」「断層」が織り成す地形はどのように生まれ、暮らしに活かされているのかについて、明科中学校のふるさと探究のフィールドを歩きながら理解を深めた。

【概要】

- 開催場所 明科 三川合流地区
 時間 9:30～12:00
 内容
 ○ 地形をテーマにしたガイドウォークへの参加
 槍で別れた梓と高瀬、巡り合うのが「押野崎」 安曇節でも唄われた三川合流部の地形と暮らしの秘密に迫る



2025/6/14 三角島 自然体験への参加

三角島ふるさとの森プロジェクト主催の「三角島 夏の自然観察会」に参加し、植物を中心に自然観察を行うとともに芽が始めたアレチウリの駆除を行い、体験を通じて安曇野の水辺の自然への理解を深めた。

【概要】

- 開催場所 三角島ふるさとの森
 時間 9:30～11:30
 内容
 ○ 豊科郷土博物館学芸員 松田氏による三角島の植物観察
 ○ アレチウリの駆除活動



2025/11/16 ココブラ信州 穂高有明砂 参加

ココブラ信州主催の「穂高有明砂」をテーマにした散策ツアーに参加。わさび田や養鱒場が点在し湧水路が複雑に交差する湧水群を訪ね、地質の違いが生み出す有明砂と湧水の秘密について理解を深めた。

【概要】

- 開催場所 穂高 北穂高地区
 時間 9:30～12:00
 内容
 ○ 地形をテーマにしたガイドウォークへの参加
 安曇野に白い砂浜?花崗岩と扇状地の地形が生んだ有明砂と湧水の秘密に迫る



ふるさと体験

～関連団体主催講座への参加～

2025/11/23 屋敷林落葉拾いボランティアへの参加

屋敷林と歴史的まちなみプロジェクトが主催で例年開催している「落葉拾いボランティア」に学生の参加を募った。

市内の丸山家の屋敷林(コマーシャルや市の観光パンフレットにも掲載される景色の一部になっている)の落葉清掃を、一般市民含め25人で約1時間半作業し、大量の落ち葉を集め、所有者の苦勞を肌で実感した。

作業終了後は、見学や今後の活動等についての意見交換を行った。

- 【概要】
- 開催場所 丸山家
 - 時間 9:00～11:30
 - 内容
 - 丸山家の落葉清掃
 - 丸山家の見学
 - 今後の活動等に関する意見交換



屋敷林見学会&落ち葉拾いボランティア2025.11.22



屋敷林とは歴史的な趣向に富み大切に継承されてきた木立です。安曇野の歴史の宝庫は、歴史的な建物が安曇野のシンボルと市民のプライドの源泉でもあります。先人はこの屋敷林に心をこめて育てました。まさに屋敷林は生活に密着していたのです。

屋敷林所有者のご苦労な体験できる貴重な機会なので、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

※アンブレラやハンカチに備忘録などご持参ください。

- 日時 令和7年11月22日(土) 午前9時30分～正午
- 集合 丸山家住宅 8:50 (全県快行)
- 駐車場 安曇野市資料センター駐車場
- スケジュール 9:00～11:30 丸山家にて 落ち葉拾いボランティア 11:30～12:00 お茶会 丸山家見学 12:00 解散
- 服装 作業のできる実装で軍手を希望の上、ご参加ください。掃除道具はこちらで用意いたします。
- 定員 20名(先着順)
- 参加費 無料
- 主催 屋敷林と歴史的まちなみプロジェクト
- 共催 NPO法人安曇野ふるさとづくり応援団
- 申し込み 11月20日までに事務局へ電話、ファクス郵送で
- 問い合わせ 屋敷林と歴史的まちなみプロジェクト事務局

300-8281(住所不要) 安曇野市観光交流促進課
電話 0263-71-2038 FAX 0263-72-1340
→参加申込書

氏名	住所	電話	参加申込書
			参加済み
			あり・なし
			あり・なし
			あり・なし

市民タイムス

発行所/市民タイムス本社 〒900-5534松本市大字員立500番地
TEL 0263-7777 FAX 0263-7771 編集所/0263-8000 販売所/0263-8001
FAX 0263-7210 印刷所/0263-7210 印刷所/0263-7210

屋敷林の維持へ 落ち葉拾い奮闘

安曇野の田舎を語る上で欠かせないのが、屋敷林の存在だ。丸山家の屋敷林は、歴史的な価値と美観を兼ね備えている。しかし、近年は所有者の高齢化や後継者の不足により、屋敷林の維持が難しくなっている。市民タイムスは、この問題を解決するために、市民の力を借りて、屋敷林の維持を支援している。

「落ち葉拾い」は、市民が参加できる簡単な活動で、屋敷林の美観を維持するのに役立つ。また、参加者には、丸山家の歴史や文化について学ぶ機会がある。市民タイムスは、この活動を広く告知し、市民の参加を呼び掛けている。

「市民タイムス」は、安曇野の歴史や文化を伝えるための重要な媒体である。このように、市民の力を借りて、屋敷林の維持を支援することは、安曇野の歴史や文化を後世に伝えるために不可欠な取り組みである。

2025.11.23

ジュニアリーダー養成講座

2025/9/23 国営アルプスあづみの公園

小学校高学年を対象として安曇野市で毎年実施しているジュニアリーダー養成講座を、国営アルプスあづみの公園で開催。当日のグループ学習の企画と運営を担当。園内のあづみの学校やフィールドを使って安曇野の自然、歴史、文化についての謎解きをしながら理解を深める機会を提供。

フィールドで探し、考え、記録し、解説をささぐ

子どもたちは3班に分かれ謎解きウォークを実施。水や地形にまつわる屋外での謎を解きながら、安曇野の土地の特徴や利水について学ぶとともに、あづみの学校のジオラマでさらに広い視点から土地の特徴への理解を深めた。



発見・気づきを整理して発表

持ち帰った謎解きシートをもとに、グループごとに心に残ったポイントを3つ選んで、そこでの発見や新たな謎などを付箋に書き出し、シートに貼り付けて整理。グループごとに発表して共有。会場まで付き添われていた親御さんは、親グループとして1班構成し、謎解きウォークにも参加いただき、子どもたちと同じ作業をしていただいた。



探究学習支援

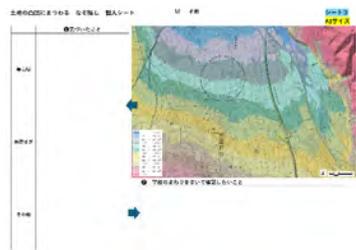
体験(市民)

2025/11/11, 25, 12/2
豊科北小4年

豊科北小4年生のふるさと探究の授業に、同小の学校運営のボランティアのみなさんにグループごとの学習(屋外と屋内)のサポートを得るとともに、子供たちと同じ目線での作図作業等を体験する機会も設定。地域探究学習への理解を深めながら協力者にもなる地域住民の育成の機会とした。

探究学習内容

3mごとに色分けした等高線図をもとに学校周辺の凹凸について疑問に思うことを書き出し、グループ単位でまとめ



各地点でスタッフの案内のもと、様々な視点から観察を実施。



室内に戻り解けた謎、さらなる謎等をグループ単位で整理して、報告し共有。



あづみの学校玄関ホールで扇状の等高線をトレースし、形の意味を学習。



扇型の等高線の意味や成り立ちの背景を安曇野の模型で学習



育成活動

児童と同じ作業をして地形を理解



まとめ作業の指南



児童と同じ作業をして扇状地の等高線を理解。模型でも特徴を学習。



等高線を知る

地図をもとに現地で探検し

より広い範囲を対象にして現地で学ぶ

実務(教員)

穂高西小 教員研修1

2025/4/30 国営アルプスあづみの公園

穂高西小の教職員を対象に、国営アルプスあづみの公園をフィールドにして謎解きウォークを体験いただくとともに、その着眼点や授業の実践例等を座学で紹介。

謎解きウォーク体験

「あづみの学校」のジオラマで安曇野の地形や水の流れなど、市内の暮らしの基盤となる環境を学ぶ時間を設けるとともに、公園内に設けた複数の立寄りポイントで、応援団スタッフの案内をききながら、子供たちに気づき、学んでほしいこと、その伝え方を記入するフィールドワークを実施。



園内での体験の後は管理センターに戻り、スライドを用いてふるさと探究安曇野の特色や着眼点、授業での実践の実例を紹介。



ふりかえりの座学



穂高西小の教職員を対象に、学校周辺をフィールドにして謎解きワークを実体験いただき、探究学習への理解を深める研修を運営。

穂高西小周辺で4か所の立ち寄りポイントとコースを設定し、複数のグループに分かれ謎解きワークを実施。
各ポイントで謎解きシートに向かい合って自らの予想を記入し、解説を聞いて理解したことを記入する、児童たちと同じスタイルでの学びを体験。



暮らしの謎を解け!

写真、資料から謎を解け!

写真、資料から謎を解け!

写真、資料から謎を解け!

写真、資料から謎を解け!

道の謎を解け!

写真、資料から謎を解け!

写真、資料から謎を解け!

写真、資料から謎を解け!

写真、資料から謎を解け!

信仰の謎を解け!

写真、資料から謎を解け!

写真、資料から謎を解け!

写真、資料から謎を解け!

写真、資料から謎を解け!

神社の謎を解け!

写真、資料から謎を解け!

写真、資料から謎を解け!

写真、資料から謎を解け!

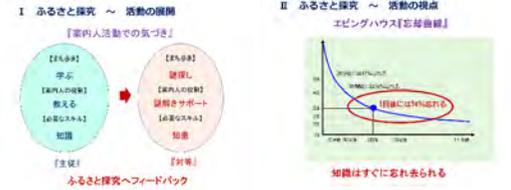
写真、資料から謎を解け!



謎解きワーク体験

安曇野市教育委員会の「安曇野の時間」の推進に向け、推進委員を対象に「ふるさと探究」の運営の体制や実施例などを紹介したうえで、今後の展開に向けての課題を見出すワークショップを開催。

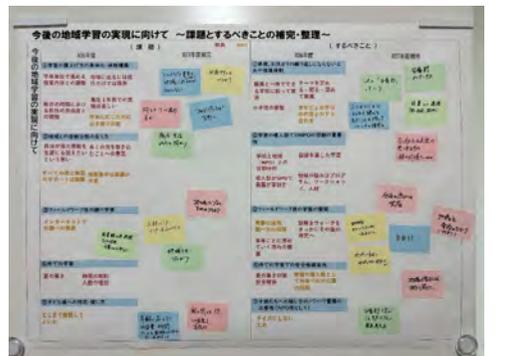
前半は座学で取り組みの趣旨やねらい、特徴、実施例等を紹介。



ふるさと探究・安曇野を知る

後半は2グループに分かれて、昨年度の委員会に整理されてきた今後の地域学習に関する課題となすべきことを土台に、その内容の掘り下げを行うとともに新たに加わる課題や取り組み工夫について意見交換を行った。
謎をもったあとの学習の導きや、地域の方とのつながり形成の難しさ、発表で終わってしまう傾向が顕著、子どもが自発的に学ぶ導きの必要性等が意見として出された。

安曇野での地域探究学習推進の課題の共有



R7 安曇野の時間推進委員会 2

実務(教員)
2025/7/30
国営アルプスあづみの公園

安曇野の時間推進委員と有志の教職員を対象に、国営アルプスあづみの公園をフィールドにして謎解きウォークの着眼点を現場で知り、その体験を通じて、土地、水とくらしや文化と関係や今後の探究について理解を深めた。

謎解きウォーク体験

公園内に設けた複数の立寄りポイントで、応援団スタッフの案内をききながら、子どもたちが体験する謎解きウォークを実体験。

「あづみの学校」のジオラマで安曇野の地形や水の流れなど、市内の暮らしの基盤となる環境を学ぶポイントも設け、屋内外の施設を利用した学習を体験。

『安曇野の地形から暮らしを読み解く』

日時: 7月30日 8:30~12:00
場所: 国営アルプスあづみの公園 ※8:30管理棟2階会議室集合(500名程度)
対象: 安曇野市教員
担当: 1組 矢花・小川 A→B→C→D (25分×4×20分)
2組 京塚・藤村 A→C→D→B (25分×4×20分)
3組 望月・吉瀬 B→C→D→A (25分×4×20分)
4組 吉崎・吉田 C→D→B→A (25分×4×20分)
内容: 8:30~8:50 学びの進め方(20分)
8:50~10:50 謎解きウォーク体験(120分)
10:50~11:00 休憩(10分)
11:00~12:00 ワークショップ(60分)

フィールド～ 謎解きウォーク



フィールドで解いた謎それぞれについての個々の記録をもとに、気づきや発見、新たな謎を付箋に記入して、グループごとにその相互関係を整理。土地と水と歴史・文化のつながりへの理解を深めた。



グループ単位での気づきや発見・謎の整理



R7 安曇野の時間推進委員会 3

実務(教員)
2026/3/6 安曇野市役所

安曇野の時間推進委員会の年度内最終の会議に、ふるさとづくり応援団のメンバーの一部も参加し、本年度の振り返りと、今後の「安曇野ふるさと学習」推進に向けての意見交換を行った。

あわせて、今後の安曇野市での小中一貫の学習の推進や、現在、文科省で検討が進められている「探究の時間」に関する検討の内容についての理解も深めた。

○委員会としての今後の取り組みに関する意見

- ・モデル授業を定め、委員のどのたかの授業をみる機会を設けてはどうか
- ・市内の取り組みとのつながりを維持できるような工夫(例:さとぶろ等の市民活動の情報共有等)
- ・副読本、地域教材の共有
- ・市内でできる様々な「体験」の実績の情報共有
- ・地域課題を自分事として自覚できるようなプロセスが必要で、そのための「体験」は重要。

○今後に向けて

子どもたちがやってみよう、楽しそうだなと感じるような展開を生み出すためにも小中一貫教育の方向性にもある「からだを動かし」「頭で考え」「心に感じる」の視点をもって取り組みを推進していくことが重要であることを改めて確認。

第6回「安曇野の時間」推進委員会報告

1 日時 令和8年3月6日(金) 13:45~16:45
2 会場 安曇野市役所 共有会議室301
3 協議事項
①はじめの言葉 (資料系小学校:豊田教頭先生)
②教育推進室あいさつ(資料系小学校:山口室長)
③推進委員としての振り返り(委員より)

④「安曇野ふるさと学習」推進に向けて
※新学習指導要領改訂に向けての流れと一致している
⑤地域との探究学習が子どもたちの自己有用感や対人への関心を育むこと
⑥資料での探究学習を推進し、そのために地域のニーズを適切に把握すること
⑦資料での探究学習について
⑧今後の取り組み
⑨今後の取り組み
⑩今後の取り組み

(会議当日の進行内容)

安曇野型 小中一貫教育

「からだを動かし」「頭で考え」「心に感じる」

体験を通して学びの「からだを動かし」「頭で考え」「心に感じる」

本気で取り組む姿勢を大切にする

総合的な学習・探究の時間に関する目標・内容の構造化等について(前提となる議論点の整理)

『探究の壁』の考え方について

① 探究の壁の壁
② 探究の壁の壁
③ 探究の壁の壁

(会議当日の配布資料より抜粋)

4. 担い手育成の課題

今年度は、信州大学との連携のもとで学生向けの体験講座10回、安曇野市教育委員会との連携のもと市民講座4回（内3回はふるさと探究授業への地域住民参加）、実務講座5回（内2回は学校の教員研修）、を開催し、担い手育成の機会に延べ129人の参加を得ることができた。これらのなかでは、学生の見聞の拡大につながる体験機会の拡充、ジュニアリーダー養成、探究学習への地域ボランティアの参加等の新たな参加・育成の機会も設けることができた。

一方で、それぞれの講座の運営や今後の展開等については、次のような点が課題として挙げられる。

◆体験講座（大学）

- ・多様な学生のニーズ、見聞の拡大に対応した体験講座の継続
- ・課題について企画提案し企画運営に関わる大学生の受け入れ（インターンシップ等）

◆体験講座（市民）

- ・探究学習に関心のある市民を対象にした体験の機会の創出

◆実務講座（教員）

- ・探究学習の成果や課題について、教員とNPOとの間で継続的に改善策の情報交換や共有ができる機会の確保（とくに、進級することによって探究を深めることができるしくみづくりについて）

担い手育成（2025年度）

ふるさと探究（学校）

- 庭金小謎解き（9月）
- 庭金小めかくど（2月）
- 豊科北小めかくど（2月）

体験講座【大学】

ふるさと体験（地域）

- ふるさとウォッチング（4月）
- ふるさとさんぽ（5月7月）
- 三角島自然体験（6月）
- まち歩きココブラ（10月11月）
- 歴敷林落葉拾い（11月）

延16名（7名）

インターンシップ

（応募なし）

実務講座【教員】

延82名

- ◆安曇野の時間推進委員
- ワークショップ（6月）
- フィールドワーク（7月）
- ふりかえり（3月）
- ◆穂高西小学校教員
- 国営公園謎解き（4月）
- 穂高柏原謎解き（7月）

体験講座【市民】

延31名

- ◆ジュニアリーダー育成講座
- 謎解きウォーク（9月）
- ◆豊科北小学校ボランティア
- 謎探しウォーク（11月12月）

5. 情報発信

（1）イベント機会での発信

ANCアリーナにて日本ウォーキングサッカー協会の国際親善交流会の機会を活かし、今後の連携に向けてふるさと探究のパネル展示を行いました。



（2）国営アルプスあづみの公園での発信

春から堀金・穂高地区あづみの学校の入口スペースにふるさと探究の取り組みを周知するコーナーを設置した。これを見て関心をもった郡上市の関係者が11月に視察のため訪れ、意見交換を行いました。

2026年3月には新たなパネルをあづみの学校のジオラマの脇に配置しました。



2025年7月25日撮影



2025年11月1日 郡上市視察時の情報交換



2026年3月の展示替え

(3) 屋敷林フォーラム2026

令和8(2026)年2月21日に開催された「安曇野屋敷林フォーラム」において、当NPO事務局長が第2部のパネルディスカッションのコーディネーターとして参加しました(参加者50名)。

「安曇野の屋敷林と民家を考える」のテーマのもと、価値ある民家の保存継承のための情報バンクの構築や屋敷林管理で発生する剪定枝の回収の仕組み(基調講演講師の関わる砺波での取り組み例)のほか、ふるさと探究に代表されるような地域での学び、調査研究の蓄積等、継承のための様々な手法の提案や意見交換が行われました。

また、同時期に行ったパネル展においてもふるさと探究の取り組み紹介のパネル展示を行いました。

フォーラム開催案内のチラシ



金田氏の基調講演



当日のパネルディスカッション



パネル展示の状況及びふるさと探究紹介パネルの抜粋

(4) ホームページでの発信

ふるさと探究安曇野の情報を発信している「安曇野さんぽ」のホームページに昨年度「担い手育成」についてのコンテンツを追加し、発信を継続しています。これらのページ構成を基本としつつ、本年度実績部分の内容追記、ハンドブックの実践編を掲載する等して、情報の更新を行いました。

令和6(2024)年度作成

令和7(2025)年度作成

4 育成実績追加(2025年度分)
5 「ふるさと探究」で大事にしている4つの法則を追加

ふるさと探究ハンドブック ～担い手育成（実践編）～

令和8（2026）年3月

発行： NPO法人 安曇野ふるさとづくり応援団
代表理事 望月 彰
〒399-8304 安曇野市穂高柏原1132番地2

